

身近な環境について考えよう

環境測定



私たちの暮らす地球は、さまざまな環境問題を抱えています。エコクラブでは、環境に負担をかけない暮らし方を考えるきっかけづくりとして、毎年「環境測定」を行ってきました。

2022年度も、夏休み期間中に、県内各地の区域委員会や区域モニターを中心に、親子環境活動員※1や「えふっこ・エコクラブ」※2の参加者など、多くの組合員と各事業所スタッフのご協力により、酸性雨384地点、二酸化ちっ素399地点の測定を実施しました。

※1 夏休みの環境測定などに参加する親子
 ※2 年間を通して家庭の省エネ活動などに参加する組合員

参加者の声

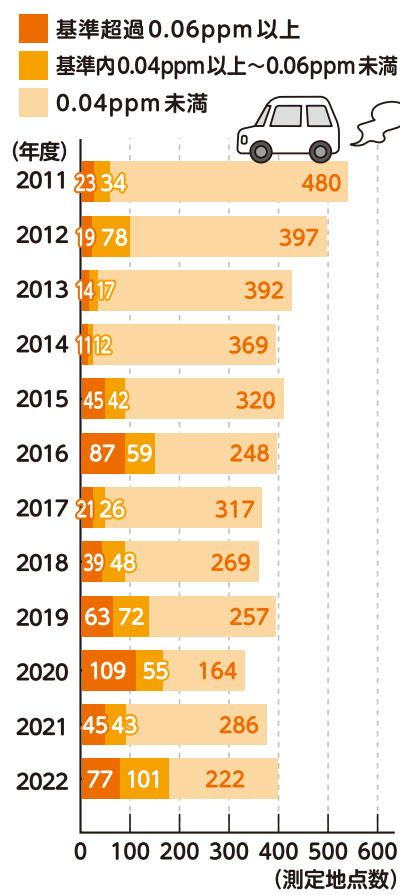
未来の子どもたち、孫のためにも地球環境に影響を与えている大気汚染物質などを減らすように世界中で取り組んでほしいと思います。

継続する中で自然の変わり具合がわかりやすいと思います。花の四季が変化しています。

初めて酸性雨測定に参加しました。自分が住んでいる地域の状態を知ることができ、面白かったです。一人でも多くの人が参加し、より良い調査になるといいなと思います。

二酸化ちっ素はどんな影響があるのかを小学生の娘と調べてみました。ネットで難しい言葉で説明されていたので、娘は今一つわかっていなかったのですが、身体や環境にもよくないということだけわかってくれました。

* 今回の測定はあくまで簡易測定であり、測定結果には多少の誤差が生じます。また、測定時の状況にも数値が左右されますので、この結果のみで必ずしも測定地域の環境の状況を断定できるものではありません。



* 簡易実験のため、目安としてご覧ください。
 * %の値は小数点第2位を四捨五入しています。

2015年度から(2017年度を除く)基準超過率の割合が10%を超えており、2021年度に関しては12.0%と比較的低い数値でしたが、2022年度は19.3%で前年より高くなっています。過去の計測値の中で最も高い割合となったのは2020年度の33.2%です。

二酸化ちっ素

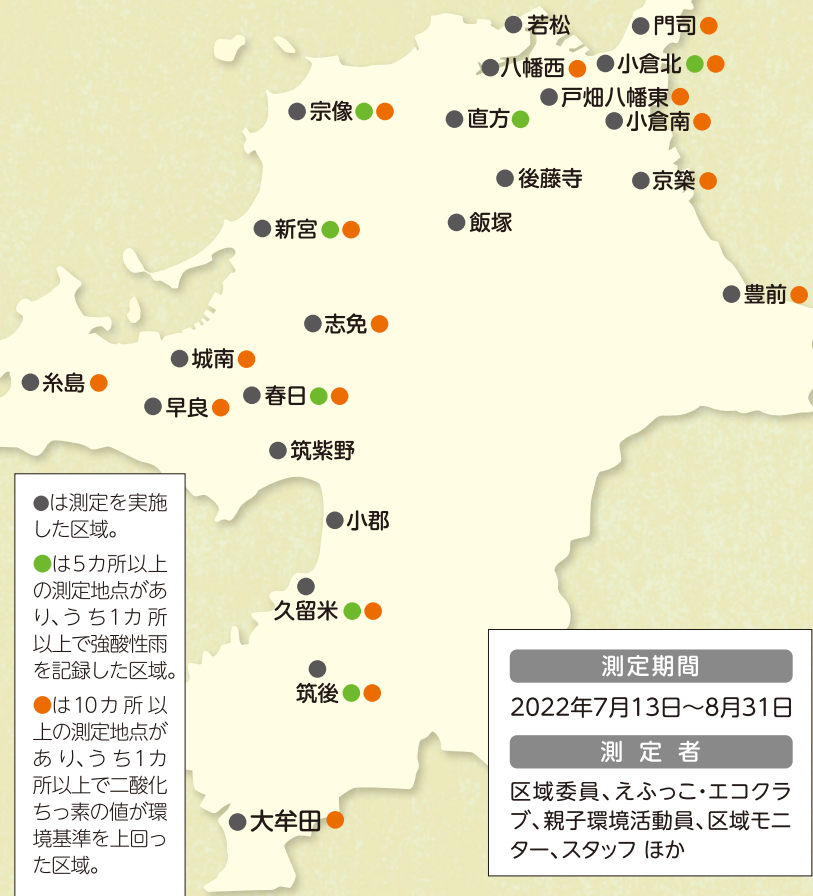
測定地点/福岡県内399地点

石炭や石油の燃焼で発生する一酸化ちっ素が空气中で酸化することで生成される物質。二酸化ちっ素が水と反応すると酸性雨の原因となります。また、汚染された空気を吸い続けると目や気管支などに悪影響を与えることがあります。

2022年の結果

基準超過率 **19.3%** (77地点)

二酸化ちっ素濃度0.04ppm未満の地域は全体の55.6%という結果で、2021年度(76.5%)と比較すると県内全域で二酸化ちっ素が増加していることがわかります。地域別にみると、2021年度よりも二酸化ちっ素の濃度が低下した区域数は7、増えた区域数は16でした。



酸性雨

測定地点/福岡県内384地点

工場や自動車、家庭から排出され大気中で化学反応を起こした二酸化硫黄やちっ素酸化物などが溶け込んだ雨のこと。酸性雨は河川や土壌を酸性化して生態系への悪影響をもたらすほか、建造物や文化財にも被害を及ぼすことがあります。

2022年の結果

酸性雨比率(強酸性雨を含む) **50.8%** (195地点)

2021年度の測定数値(149地点・41.3%)と比較すると、酸性雨の測定割合は増加しています。地域別にみると、2021年よりも酸性雨の割合が減った区域数は8、増えた区域数は15となりました。

強酸性雨



* 簡易実験のため、目安としてご覧ください。
 * %の値は小数点第2位を四捨五入しています。

強酸性雨・酸性雨を測定した地点の割合は、2016年度の67.4%をピークに年々減少し、2021年度は41.3%でしたが、2022年度は、50.8%と増加に転じています。測定地点数は多少異なるものの、強酸性雨・酸性雨を測定した地点は、全体の半分以上となり、過去2年より高い数値となりました。

測定方法

- カプセルのふたを開けて24時間屋外につるします
- カプセルにふたをして茶封筒に入れて提出します
- 専用の機械を使って、カプセル内の3紙に付着した二酸化ちっ素を計測します

測定方法

- 空の容器に雨水を集めます
- 薬剤の入ったチューブで集めた雨水を吸い上げます
- 判定用の色見本をもとに酸性度をチェックします

pH5.5以下だと酸性雨です